



鳥取市教育センターだより

第4号 令和2年12月18日発行

〒680-0053

鳥取市寺町150番地

TEL 0857-36-6060

FAX 0857-26-3878

E-mail

kyo-center@city.tottori.lg.jp

「見えないもの」

所長 東田 重高

新型コロナウイルス感染防止の対応に追われ続けた令和2年も残りわずかとなりました。教育センターでは、皆様に支えていただきながら教職員研修（Webによる遠隔講義）、サポートルームの運営等に取り組んできました。学校現場や教育関係機関におかれましても、「例年通りのやり方」が通用しない大変困難な状況の中で、子どもたちの夢や希望の実現に向けて教育活動にご尽力いただいた皆様に、職員一同、心より感謝申し上げます。

年の暮れになると「今年の流行語」が話題になります。昨年は、ラグビー日本代表スローガン「ONE TEAM（ワンチーム）」という言葉が多くの人々の心に残り、元気・勇気・やる気を与えてくれたことを覚えています。今年は、コロナ禍における「3密回避」「ソーシャルディスタンス」「新しい生活様式」などの言葉をよく聞きますが、人との距離をとることが求め続けられています。他者とのかわりの中で、「心の距離」はどうなっているのでしょうか。今までになかったこと、考えてもいなかったこと、先が見えないことに多くの人が不安やストレス、閉塞感を感じているのではないのでしょうか。年末で慌ただしい毎日が続きますが、是非とも「見えない疲労の回復」に努めていただくことも大切です。



ある時、TVでの受験生や先生に向けたある製薬会社のCMが目にとまりました。

見えないものと闘った一年は、見えないものに支えられた一年だと思います。今年の生徒と先生は、例年以上に「戦友」のような関係だったのではないのでしょうか。その見えない絆の強さこそ、きっと底力の正体です。「見せてやれ、底力。」

これを見ながら、「その根っこは見えない その見えないところに大事な点がある。」（相田みつを）という言葉思い出しました。さらに、「見えないけれど大切なもの」を調べていると、「見えぬけれどもあるんだよ 見えぬものでもあるんだよ」という金子みすゞの詩『星とたんぽぽ』の一節がありました。屋間の星も地中にある冬のたんぽぽの根のように、「目に見えないけれどしっかり存在しているんだよ」と詠まれています。目に見えないけれど確かにあるものに気づき、敬意や感謝の気持ちを注ぐことの大切さ。CMにある「支えてくれているもの・絆の強さ」もその一つなのかもしれません。

このように「見えないもの」を容易に見ることはできないかもしれませんが、「心の目で見ようとする」と「感じとろうとする」とは、コロナ禍での不安や負の連鎖を乗り越える上で、大変重要なことではないかと思います。このような状況の中でも、子どもたちが成長している姿を思い浮かべながら一年を振り返ることで、勇気や元気をもらい笑顔で新年を迎えたいものです。

来年も引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

研修企画係

「中堅教諭等資質向上研修」

鳥取市教職員研修では、中堅教諭等資質向上研修を中心となる研修と位置付けています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、これまですべて Web 会議による遠隔研修で実施していましたが、12月10日の研修は中堅教諭の先生のみ鳥取市教育センターに集合し、研修を行いました。

先生方は、キャリア教育について講義を受けた後、校内での研修の様子について情報交換を行いました。先生方からは、「それぞれが校内での研修の様子について話し合う中で自身の取組の振り返りができた」という声が聞かれました。校内のOJT推進や若手教員への支援など、同じキャリアステージの先生と情報交換を行うことで実践に活かすイメージが持てたようです。今後も校内や校外の研修に意欲的に取り組み、積極的に学校運営に参画してほしいと思います。



情報交換の様子



情報交換内容の共有



研修の取組について紹介

授業での活用に向けて

～ICT活用指導力向上研修(基礎編)を実施しました～

10～11月に6回、iPadの基本的操作習得をめざして研修を行いました。

研修のポイントを「端末をいろいろさわってみる」とし、教育センターのiPadを使って写真撮影とプレゼンテーション作成をしました。中には初めてiPadを使う先生もおられ、普段使っているWindowsOSの端末とは勝手が違い、写真を撮るのにも一苦労でした。しかし、講師や他の受講者に操作方法を聞きながら、端末をいろいろさわってみることで、徐々に操作方法やいろいろな機能の使い方がわかってきました。最後には、それぞれ作成したプレゼンテーションを発表することもできました。

受講者の声

実際にiPadを使っていくことでいろいろな機能を見つけ、活用することができた。使っていく中での発見がたくさんあった。わからないことがあったら、調べながら解決していこうと思った。

学校にiPadが入ってくる時に備えて、子どもたちが活用できる場面を考えていきたい。



研修の様子

来年1月に、情報化推進リーダーを対象にICT活用指導力向上研修(応用編)を開催します。内容はGoogle Meetの活用方法です。